
4057. ハウスB／L貨物情報登録呼出し

業務コード	業務名
NVC11	ハウスB／L貨物情報呼出し

1. 業務概要

(1) 混載子B／L情報呼出し

「ハウスB／L貨物情報登録（NVC01）」業務によりシステムに登録した混載子B／L情報を呼び出す。

呼び出された情報は、NVC01業務において訂正を行うことが可能である。

(2) 出港前報告情報呼出し

NVC01業務に先立ち、システムに登録されている出港前報告情報のうち、ハウスB／L情報よりNVC01業務に利用しうる情報を呼び出す。

2. 入力者

通関業、保税蔵置場、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

1業務で入力可能な混載子B／L番号は最大20件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②混載子B／L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、当該混載子B／L情報を登録した利用者であること。
- ③混載親B／L番号に対して既に混載子B／L情報が登録されている場合は、混載子B／L情報の登録を行った利用者であること。
- ④②③以外の場合で、出港前報告情報DBから呼び出す場合は、AHR業務等の実施利用者であるか、AHR業務等で登録された通知先の利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック

(a) 混載親B／Lのチェック

混載親B／L番号に入力があつた場合で、混載子B／L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ①貨物情報DBが存在すること。
- ②混載親B／Lであること。

(b) 混載子B／Lのチェック

混載子B／L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ①混載子B／Lであること。
- ②関連付けがされている混載親B／L番号と、入力された混載親B／L番号が同一であること。
- ③混載子B／L番号のみ入力された場合は、混載親B／L番号との関連付けがされていないこと。

④混載仕分けを行う保税地域等で搬入確認済（保税地域等に蔵置中に混載仕分けを行う場合は、混載仕分確認済）でないこと。なお、混載仕分け場所がシステム参加保税地域等^{*1}以外の場合は、「システム外保税運送到着確認（SAT）」業務または輸入申告等の税関手続きがされていないこと。

⑤入力されたすべての混載子B／L番号に対する貨物情報DBが存在すること。

（４）出港前報告情報DBチェック

混載子B／L番号に対する貨物情報DBが存在しない場合は、出港前報告情報DBに対して以下のチェックを行う。

①出港前報告情報DBが存在すること。

②ハウスB／L情報であること。

（＊１）システム参加保税地域等とは、システム参加保税地域と「他所蔵置許可申請（TYC）」業務または「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務で登録された他所蔵置場所をいう。なお、システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

5. 処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）ハウスB／L貨物情報登録呼出情報編集出力処理

貨物情報DBまたは出港前報告情報DBよりハウスB／L貨物情報登録呼出情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（３）注意喚起メッセージ出力処理

①呼出情報を元に変更内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

②出港前報告情報DBよりハウスB／L貨物情報登録呼出情報の編集及び出力を行った場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

③②の場合かつ、ハウスB／Lに関連付けられたマスターB／L番号が複数混在した場合は、混載親B／L番号欄を出力しないため、手入力する必要がある旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
ハウスB／L貨物情報登録呼出情報	なし	入力者